



雲南市議会議員 梶谷よしひら よしひら通信

7号

令和4年7月

令和4年6月議会 一般質問

問1

休眠の公共施設等の
利活用について

公共施設等総合管理計画では、条例の廃止後に普通財産検討委員会の方針が決定までに時間を要しているがこれによいのか。

答弁 総務部長

市有財産の利活用や処分には、活用に向けた議論が必要である。今後は工夫なり改善に取り組んでいく。

何故、旧飯石幼稚園は閉園後、地区に打診し活用しない結論が出たのか。また、閉園以降8年もの時間を要したのか。

答弁 教育次長

旧飯石小学校と旧飯石幼稚園があり、地区では小学校が「いしへいわの里」として活用が優先され、検討が遅れた。

幼稚園の閉園時に期限を区切って利活用の提案が出来なかったのか。また、物件を貸出した場合の収入を試算したことがあるか。

答弁 総務部長

地域での検討期間はおおむね

問2

障がい者の支援について

3年で打診している。施設の試算はしていない。

発達遅延・発達障がい早期発見が重要だが見解はどうか。障がい者総合プラン（平成30・令和3年版）は、両方内容が同じ、誤字も同じである。体制づくりを検討した結果はどうであったのか。

答弁 健康福祉部長

発達障がい早期発見支援すること、特性に合わせた教育・支援がその後の発達や生活の自立に重要であるので、保健・医療・教育・福祉の機関が連携をして進めている。総合プランは委員の声や状況を聞き見直しを図ることになる。誤字は訂正したい。

市長は田舎暮らしナンパワンの市と自負しているが、この障がい者プランの検討・検証はどうか。

答弁 市長

詳細は承知していないが、策定には意見を聞きながら進めていると考えている。今後とも意見を賜りより良いものにならしたいと考えている。

核家族が進む中で、子育てをする保護者の不安や悩みを気軽に相談出来る場所について市の見解はどうか。

答弁 子ども政策局長

検診の場、発達クリニック、子育て支援センター、保育所、こども園、幼稚園、母子健康包括支援センター、子ども家庭支援センターなどで相談を受けている。段階に応じ適切に連携して支援をしているので相談をして欲しいと考えている。

保健師を総合センターに再配置できないか。また、オンラインで本庁の保健師との相談窓口を設置できないか。

答弁 健康福祉部長

保健師は平成28年度に本庁集約とした。総合センターの職員に相談すれば本庁の保健師につながる。現在も担当は設け相談・訪問を行っている。オンラインでの相談も可能。

障がい児の療育支援を行っている加茂のさくら教室は、送迎が保護者に負担と聞いている。保護者に代わり送迎が出来るか。

答弁 健康福祉部長

送迎の有無が事業利用の妨げ

になっているとは聞いていない。送迎で課題があれば児童発達支援事業所、相談支援事業所が課題解決の対応をする。困難な事案は市が課題解決に取り組む。

GIGAスクールがスタートしたが、小中学生の発達障がい・不登校に対してITの支援や今後の計画はどうか。

答弁 教育次長

発達障がいの支援は、特別支援学級で個別支援を行い文字入力や絵文字での表現など教育用ソフトの活用を回ってきた。今後も障がいに応じた機器の活用で支援を行う。不登校児童生徒の支援は、おんせんキャンパスで、ICT機器での支援を行っている。今後はタブレット端末で家庭と学校をつなぎ学習参加や別室登校で学力保証を回りたいと考えている。

GIGAスクールがスタートした中で不登校の人数はどのように変化したのか。

答弁 教育次長

昨年度は小学生32人、中学生57人で、小学生は一昨年と同数で中学生は伸びた。不登校支援は今後大きな教育課題であると考えている。

裏面へ続く



WEBから
皆様のご意見、
お聞かせください!

<https://kajitani.site>

梶谷よしひら 後援会事務所 〒699-1113 雲南市加茂町東谷 1313
発行責任者 梶谷佳平 電話・FAX 0854-49-6399



問3

コロナ禍での
産業振興について

市は今年行った支援制度と同程度の企業支援を計画しているのか。

答弁 市長

国の事業復活支援金に該当しなかった事業者へ支援が必要と判断し、雲南市事業復活支援事業を今議会に上程した。消費喚起施策も早急に検討したいと考えている。

答弁 産業観光部長

雲南市事業復活支援金は、国の事業復活支援金の要件対象にならなかった事業者への支援制度で、申請期間は今年7月から9月末までを予定している。



紙面の都合上一般質問の一部を割愛して掲載いたしております。全てご覧になりたい方は、横谷よしひら公式サイトより議会動画をご覧ください。

6月議会 所感

よしひら通信をご覧いただき有難うございます。

今回の6月議会で、私の所属する教育民生常任委員会で注目された案件を皆様にお知らせいたします。議会の一般質問はケーブルテレビやインターネットでご覧の方が多いと思います。各委員会は公開されていますので、関心のある方は傍聴にお越しください。

1 雲南市民病院の職員募集について

雲南市民病院では、医療活動従者の退職に伴い医師・看護師・薬剤師・調理師を募集していますが、市民病院への就職希望者が少ない状況です。

今後、病院は給与・勤務時間等を見直し働きやすい環境にする計画です。

3 木次子育て支援センター移転中止について

子供政策局は、斐伊保育所の外部委託を検討する中で、保育所内の木次子育て支援センターを統合する計画を打ち出し、支援センター利用者などからの反対にもかかわらず、令和4年3月斐伊保育所の統合計画を予算化したが、疑義の意見が上がり子供政策局は計画見直しすることになり、三刀屋子育て支援センターとの統合は中止となりました。

今後は増築または近くに新築することになりそうですが、私は、強引に統合を推進した子供政策局の責任は重大だと思えます。

5 次期可燃ごみ処理施設の建設について

令和13年度の完成を目指して、周辺市町も視野に入れた広域処理施設の財政面と環境面から整備計画が検討され、雲南市・飯南町・奥出雲町の3市町で検討を進めることになりました。

計画では令和5年に用地選定、令和6年に測量・生活環境調査・設計、令和9年に造成、令和10年に建設開始となる予定です。



この1年に市民の皆様から頂いたご要望等を市行政へ取次させていただきました。

その模様は活動報告としてホームページの方に記事として公開しています。どうぞご覧ください！

2 文化振興企画運営事業への追加補正について

コロナ禍で活動が制限された文化活動に、活動継続・再開支援を行うため300万円の追加補正を働キラキラ雲南に行う計画を発表。

4年度当初予算で500万円が予算化され、予算執行が分からないままに追加補正する意図が不明で、教育委員会からは300万円補正の積算根拠も出していません。私は容認することは出来ないと考えます。

4 新型コロナウイルス4回目の接種について

令和4年4月27日第32回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会特例臨時接種として4回目接種実施が了承されました。

接種券発送は、6月から順次発送します。接種会場は、雲南市民病院第三駐車場特設会場です。個別接種は、平成記念病院・掛合診療所・その他各医療機関です。

